

# 《 財政収支計画 》

## 事前資料 2

### [1] 収益的収入

水道料金が主な財源です。

(税抜額)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	説 明
事業収益	447,803,200	448,358,496	445,314,508	443,453,503	441,552,138	
営業収益	428,198,386	428,753,682	425,709,694	423,848,689	421,947,324	
給水収益	418,648,541	419,297,837	416,332,349	414,553,844	412,733,979	水道使用料及び量水器使用料
受託工事収益	830,845	830,845	830,845	830,845	830,845	給水装置工事や破損の修繕を受託した収益
他会計負担金	2,199,000	2,170,000	2,156,000	2,137,000	2,119,000	消火栓維持管理負担金
その他の営業収益	6,520,000	6,455,000	6,390,500	6,327,000	6,263,500	加入金半額(残りは資本的収入の加入金へ)等
営業外収益	19,604,814	19,604,814	19,604,814	19,604,814	19,604,814	
受取利息及び配当金	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	預金利息
他会計補助金	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	21年度審議会答申を受け町から経営支援
雑収益	9,587,814	9,587,814	9,587,814	9,587,814	9,587,814	下水道料金徴収事務委託料、窓口コピー代 ほか
特別利益	0	0	0	0	0	

### [2] 収益的支出

浄水場運転や配水管修繕、水道検針など水道事業の日常の業務に使用する予算です。

(税抜額)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	説 明
事業費用	474,435,375	474,326,280	471,818,409	469,777,274	468,526,796	
営業費用	451,807,430	452,586,886	451,107,323	450,120,839	449,955,726	
原水及び浄水費	222,163,547	222,698,847	222,163,547	222,163,547	222,163,547	浄水場運転費用
受水費	183,265,576	186,082,630	183,265,576	183,265,576	183,265,576	県水、吉見町水芝沼地区受水分
配水及び給水費	17,617,410	17,617,410	17,617,410	17,617,410	17,617,410	配水管の修繕や管理費用
受託工事費	0	0	0	0	0	給水装置工事や修繕を受託して行った費用
総係費	50,456,974	50,456,974	50,456,974	50,456,974	50,456,974	水道料金管理、水道事業経営事務費用
減価償却費	159,733,612	159,977,768	159,033,505	158,047,021	157,881,908	固定資産の価値減少額
資産減耗費	1,835,887	1,835,887	1,835,887	1,835,887	1,835,887	
固定資産除却費	1,835,887	1,835,887	1,835,887	1,835,887	1,835,887	古い施設を未減価償却費から除いた額
たな卸資産減耗費	0	0	0	0	0	保管中の資材が破損等した際、帳簿から除く
その他の営業費用	0	0	0	0	0	
営業外費用	22,595,828	21,707,277	20,678,969	19,624,318	18,538,953	
企業債利息	22,595,828	21,707,277	20,678,969	19,624,318	18,538,953	企業債償還に伴う利息
その他の雑支出	0	0	0	0	0	
特別損失	32,117	32,117	32,117	32,117	32,117	料金未払者倒産、行方不明等による損失 ほか

※ 平成27年度はうるう年のため、給水収益、受水費、電気料金等が1日分増額となります。

### [3] 資本的収入

資本的支出に用いるため、企業債借入や国庫補助金、出資金など(外部資金)を受ける予算です。

(支出が収入に不足する額を消費税収支調整額等で補てんするため、消費税5%相当額込)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	説明
資本的収入	6,981,931	6,616,132	6,552,971	6,490,441	6,428,537	
負担金	6,981,931	6,616,132	6,552,971	6,490,441	6,428,537	
負担金	602,000	300,000	300,000	300,000	300,000	消火栓設置負担金
加入金	6,379,931	6,316,132	6,252,971	6,190,441	6,128,537	加入金の半額(残りは収益的収入の加入金へ)
寄附金	0	0	0	0	0	
固定資産売却代金	0	0	0	0	0	
企業債	0	0	0	0	0	大規模工事の際国等から借りる
出資金	0	0	0	0	0	大規模工事の際町から支援を受ける
国庫補助金	0	0	0	0	0	大規模工事の際国等から支援を受ける

### [4] 資本的支出

配水管や浄水場設備の新設、更新などに使用する予算です。

(支出が収入に不足する額を消費税収支調整額等で補てんするため、消費税5%相当額込)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	説明
資本的支出	105,434,622	113,671,845	114,700,153	115,754,804	117,800,525	
建設改良費	69,430,400	69,430,400	69,430,400	69,430,400	69,430,400	
第4期拡張工事費	0	0	0	0	0	施設を複数年計画で更新の場合に予算を組む
配水管改良費	32,466,000	32,466,000	32,466,000	32,466,000	32,466,000	配水管新設及び布設替工事費
施設整備費	0	0	0	0	0	浄水場施設新設及び更新工事費
機械装置設備費	36,750,000	36,750,000	36,750,000	36,750,000	36,750,000	浄水場機械設備新設及び更新工事費
消火栓設置費	0	0	0	0	0	消火栓新設(配水管工事に伴わないもの)
量水器費	214,400	214,400	214,400	214,400	214,400	量水器を新たに設置する場合の購入費
固定資産購入費	0	0	0	0	0	備品や車両購入費
企業債償還金	36,004,222	44,241,445	45,269,753	46,324,404	48,370,125	企業債(元金)を返済

## [5] 資本的収入が資本的支出に対し不足する額と補てん財源の内訳

収益的収支と異なり、資本的収支において支出が収入を上回った差額(不足額)は、(A)「損益勘定留保資金」や(B)「消費税及び地方消費税資本的収支調整額」等の内部資金で補てんすることができます。

### (A)「損益勘定留保資金」

収益的支出の減価償却費や固定資産除却費等、実際には外部へ支払する費用でないため内部に留保されることになる額の名称です。

### (B)「消費税及び地方消費税資本的収支調整額」

消費税及び地方消費税は、収入に伴う仮受消費税から支出に伴う仮払消費税額を差し引いた額を納付額とします。資本的収支では、仮受消費税よりも仮払消費税が多くなり、還付対象となります。この差額を内部留保資金として、補てん財源の用いるものです。消費税確定時には、収益的収支の消費税が加算され仮受消費税額が仮払消費税額を上回るため、消費税納付となります。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	説 明
資本的収入	6,981,931	6,616,132	6,552,971	6,490,441	6,428,537	
資本的支出	105,434,622	113,671,845	114,700,153	115,754,804	117,800,525	
差引	-98,452,691	-107,055,713	-108,147,182	-109,264,363	-111,371,988	
補てん額	98,452,691	107,055,713	108,147,182	109,264,363	111,371,988	
損益勘定留保資金	96,312,788	104,912,620	106,000,931	107,114,985	109,219,515	
消費税資本的収支調整額	2,139,903	2,143,093	2,146,251	2,149,378	2,152,473	
積立金取崩し	0	0	0	0	0	下記積立金を取り崩す

## [6] 積立金について

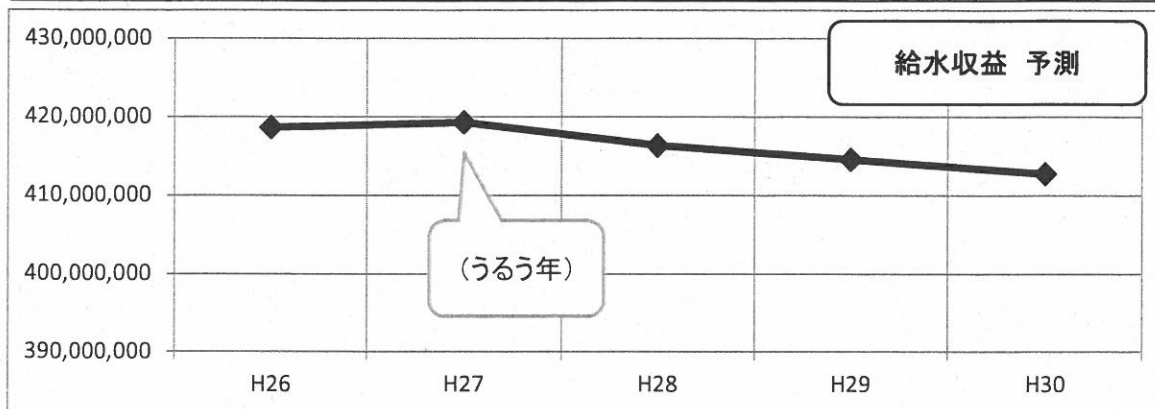
将来に備えて積み立てする項目で、川島町水道事業では2種類の積立金を保有しています。収益的収支で黒字(利益剰余金)が発生した額を積み立てるので、赤字(欠損金)が発生した平成22年度以降、額の変動はありません。積立金を欠損金処分に用いることもできますが、本来の目的で必要が生じた場合に備え、残しています。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	説 明
減債積立金	94,103,103	94,103,103	94,103,103	94,103,103	94,103,103	企業債償還額が不足する場合に備える
建設改良積立金	76,663,308	76,663,308	76,663,308	76,663,308	76,663,308	大規模工事発生に備える
計	170,766,411	170,766,411	170,766,411	170,766,411	170,766,411	

## [7] 収益的収入 給水収益 予測

収益的収入のうち、給水収益の予測をグラフ化しました。  
 地域水道ビジョンにおける有収水量の、生活用水量、業務用水量、工場用水量ごとの使用水量を反映させ収益に換算したものです。

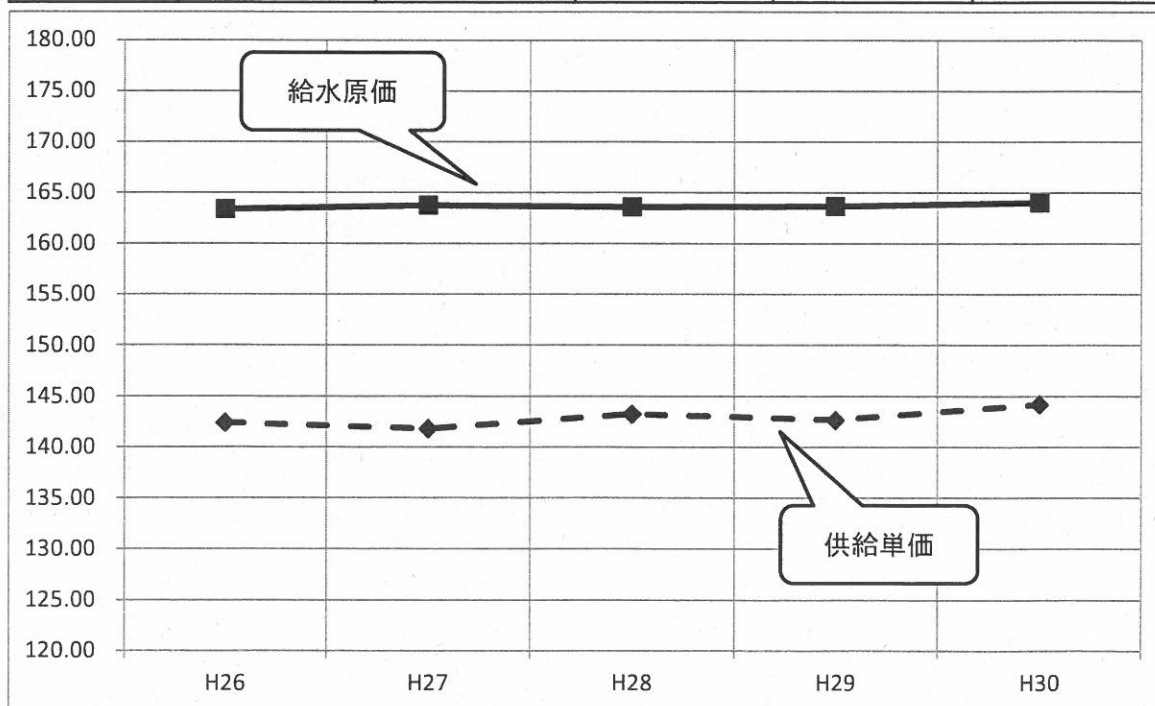
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
給水収益	418,648,541	419,297,837	416,332,349	414,553,844	412,733,979



## [8] 収益的収支 供給単価と給水原価の比較

供給単価は1m<sup>3</sup>あたりの収益を示し、給水原価は1m<sup>3</sup>あたりの費用を示します。  
 給水原価が供給単価を上回るのは「逆ザヤ」と呼ばれ、赤字を反映していることになります。

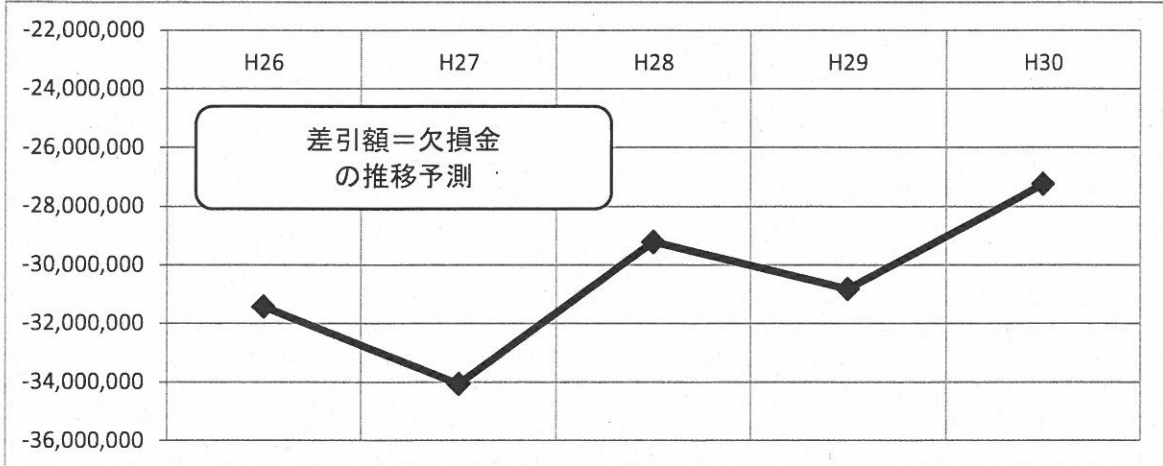
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
供給単価	142.16	142.21	142.37	142.52	142.68
給水原価	161.11	160.87	161.34	161.51	161.97
差引額	-18.94	-18.66	-18.97	-18.99	-19.29



### [9] 収益的収支 欠損金推移

収益的収入の事業収益から収益的支出の事業費用を差し引いた額です。マイナスが付くと赤字(欠損金発生)を示します。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業収益	447,803,200	448,358,496	445,314,508	443,453,503	441,552,138
事業費用	474,435,375	474,326,280	471,818,409	469,777,274	468,526,796
差引額 =欠損金	-26,632,175	-25,967,784	-26,503,901	-26,323,771	-26,974,658



### [10] 資本的支出 企業債(元金)償還 予定

26年度以降の収支において、「資本的支出 企業債(元金)」の償還の増加が見込まれるので、グラフ化しました。

企業債は借入の翌年度から利子の償還が始まりますが、元金償還は5年経過後から開始し、徐々に額を増やしながら25年で償還します。21年度に平沼浄水場配水池築造と老朽管更新目的に借入した企業債2億4千万の償還が27年度から始まり、額が増加するものです。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
企業債償還	36,004,222	44,241,445	45,269,753	46,324,404	48,370,125

